

TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



トヨタは、気候変動、水不足、資源枯渇、生物多様性の損失など、地球環境の問題に対し、これまでも広く取り組んできました。今後も環境への取り組みを通じて、SDGsの実現に貢献します。

<https://global.toyota/jp/sustainability/esg/environmental-policy/>



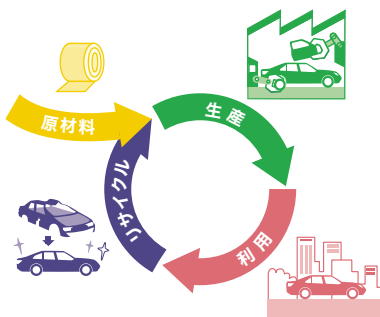
■ カーボンニュートラルの実現

トヨタは、「カーボンニュートラル」の実現のために、「つくる」「はこぶ」「つかう」「廃棄・リサイクル」など、クルマの一生を通して、CO₂排出量を削減する取り組みを進めます。



■ 究極の循環型社会をめざして

トヨタでは、廃棄物を減らし、再利用可能なものは繰り返し使用し、さらに廃棄物を再び資源化します。



■ 人と自然が共生するために

トヨタは、水使用による環境負荷を小さくするとともに、生物の多様性を取り戻すために、自然保全活動の輪を地域・世界とつなぎ、そして未来へつなぐ活動を進めます。



トヨタライズ 環境仕様

		5AA-A202A	5BA-A201A	3BA-A210A
車両型式				
エンジン	総排気量	L 1.196		
駆動装置	駆動方式	前輪駆動方式 四輪駆動方式		
車両重量		kg 1,060~1,070	970	1,040~1,050
燃料消費率	WLTC ^{*1} 燃料消費率 ^{*1} (国土交通省審査値)	km/L 28.0	20.7	17.4
	CO ₂ 排出量	g/km 83	112	133
	JCOE ^{*2} 燃料消費率 ^{*1} (国土交通省審査値)	km/L 34.8	24.6	23.6
	CO ₂ 排出量	g/km 67	94	110
参考		2030年度燃費基準優良車 ^{*2} / ^{*3}		
認定レベルまたは適合規制値 (国土交通省)		平成30年基準排出ガス50%低減レベル ^{*3}		
排出ガス	CO	1.15		
	認定レベルまたは適合規制値 (g/km)	NMHC 0.05		0.10
	NOx	0.025		
	PM	-		
車外騒音	規制区分	平成28年騒音規制 M1A2A		
	加速 (規制値) / 定常 / 近接	dB 70 / - / 71	70 / - / 76	70 / - / 75
冷媒の種類 (GWP値 ^{*4} / 使用量)		g HFO-1234yf (1 ^{*5}) / 350		
環境負荷物質削減	鉛	自工会2006年自主目標達成 (1996年比1/10以下 ^{*6})		
	水銀	自工会自主目標達成 (2005年1月以降使用禁止 ^{*7})		
	カドミウム	自工会自主目標達成 (2007年1月以降使用禁止)		
	六価クロム	自工会自主目標達成 (2008年1月以降使用禁止)		
車室内VOC ^{*8}		自工会目標達成 (厚生労働省室内濃度指針値以下)		
リサイクル関係	リサイクルし易い材料を使用した部品	フロント・リヤバンパー、インストルメントパネル、ピラーガーニッシュ、ドアトリムなど		
	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり		
環境負荷物質使用状況等	鉛	エンジンアンダーカバー、フェンダーエクステンション、リヤホイールハウスライナーなど 電子基板・電気部品のはんだ、圧電素子 (PZTセンサー) 等に使用 鉛廃止済み部品: 電着塗料、燃料ホース、パワステ高圧ホース、ホイールバランス、電球と点火プラグ、塩ビ・ゴム部品、バルブシート、軸受けなど		
	水銀	水銀廃止済み部品: コンビネーションメーター		
	六価クロム	六価クロムの使用無し 六価クロム廃止済み部品: 金属部品類やボルト・ナット類の防錆目的コーティング他		
	カドミウム	カドミウムの使用無し カドミウム廃止済み部品: 電気・電子部品のICチップ基板、厚膜ペースト他		

^{*1} 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境 (気象、渋滞等) や運転方法 (急発進、エアコン使用等) に応じて燃料消費率は異なります。 ^{*2} 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準。 ^{*3} WLTCモード走行。 ^{*4} GWP: Global Warming Potential (地球温暖化係数) ^{*5} フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められています。 ^{*6} 1996年乗用車の業界平均1,850g (リサイクル回収ルートが確立されているため鉛バッテリーを除く) ^{*7} ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスプレイヘッドランプ、室内蛍光灯 (交通安全上必須な部品の極微量使用を除外) ^{*8} VOC: Volatile Organic Compounds

自動車リサイクル法の施行により、下表のリサイクル料金が別途必要となります。

全車	リサイクル預託金				資金管理料金	合計
	シュレッダーダスト料金	エアバッグ類料金	フロン類料金	情報管理料金		
6,070円	2,800円	—	130円	290円	9,290円	

※リサイクル料金は'24年11月時点の金額。

■リサイクル預託金が預託済のお車を商品車として譲渡する旧所有者 (譲渡人) は、車面価値部分とリサイクル預託金相当額の合計額を新所有者 (譲受人) からお受け取りになることにより、リサイクル預託金の返金を受けることができます。詳しくは、取扱販売店におたずねください。